

## 木更津駐屯地に関する協議会部会の開催結果について

### 1 開催日

令和5年9月6日(水)

### 2 開催場所

木更津市役所駅前庁舎8階 防災室・会議室

### 3 議題

木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について

### 4 懸念事項等と対応方策

#### (1)事前確認

※○部会委員の懸念事項、●木更津駐屯地の対応方策

- ① 木更津海岸潮干狩り場は、滑走路南側の延長線上に位置しているが、同潮干狩り場が開場している際に、その上空をオスプレイが飛行していることがあり、同潮干狩り場を訪れたお客さんから、騒音による苦情や安全性への懸念の声が寄せられている。

潮干狩り場の開場時は、騒音による影響について、改めて、最大限配慮していただくとともに、特に木更津海岸潮干狩り場上空は飛行しないでいただきたい。(新木更津市漁業協同組合)

- ① V-22に限らず、木更津駐屯地所在の飛行部隊については、周辺潮干狩り場の運営状況を共有するとともに、潮干狩り場上空の飛行を避けるなど、可能な限り配慮に努めております。

一方で、駐屯地としては、最も安全な運航を追求することが第一義であり、そのため、訓練内容や天候の状況により潮干狩り場近傍を飛行しなければならない場合がある事についてはご理解いただきたい。

- ② 自衛隊機が場周経路ではなく、滑走路から木更津駐屯地洋上に向かって飛行していることがある。その飛行経路下に漁場があることから、場周経路を使用していただきたい。(新木更津市漁業協同組合)

- ② 場周経路は離発着訓練及び飛行場を離陸して出発あるいは飛行場に戻ってきて着陸するための経路経路となっておりますが、航空交通の安全確保上、場周経路のみに限定することはニアミスが生じる可能性があり、また風を考慮することができず危険となる場合があり、離発着を場周経路のみに限定することはできません。また、江川海岸、木更津海岸で潮干狩りを行っている間は、その上空飛行回避の観点から、ヘリに限定して飛行場から西側への出入りを追求しております。いずれにしても、地域住民や漁協の皆様に対し、可能な限り配慮に

努めてまいります。

- ③ オスプレイが昼時(11時半から13時半まで)にかけて頻繁に飛行しているの  
で、昼時の飛行は避けてほしい。(新木更津市漁業協同組合)
- ③ 飛行の安全を確保する観点から、早朝から飛行前の各種装置の点検等を実  
施し、昼前後に飛行開始となります。いずれにしましても、V-22に限らず、可  
能な限りで飛行を分散して騒音配慮に努めてまいります。
  
- ④ 昨年度の部会において、木更津駐屯地によりますと、「オスプレイの場周経路  
における離着陸訓練実施時は、連続した場周経路使用を避けるため、場周経路  
を一旦離脱する等配慮している。」とのことですが、中島地区や瓜倉地区の住  
民が、およそ5分間隔で当該地区上空をオスプレイが連続で飛行していること  
から、騒音への配慮を求めている。連続した場周経路の飛行をしないよう最大  
限配慮していただきたい。(中島・瓜倉地区)
- ④ V-22の場周経路における離着陸訓練実施時は、連続した場周経路使用を  
避けるため、場周経路を一旦離脱する等配慮しております。また、騒音苦情が  
寄せられた場合は、引き続き無線で飛行中の航空機に対して、注意喚起するこ  
とにも、可能な範囲で訓練課目の変更や当該地域を離れるまたは避けるよう  
に配慮いたします。
  
- ⑤ 夜間飛行について、21時を過ぎても実施していることがあり、昼間と比較し  
て夜間の方が在宅している方が多く、また、21時以降は、就寝している方もい  
るため、21時以降の飛行は控えるなど、周辺住民に配慮した運用をしていた  
いただきたい。(中里2丁目区)
- ⑤ 夜間飛行は、防衛警備は基より災害派遣においても必要な飛行になります。  
そのため、夜間による飛行訓練はパイロットを養成する上で必要不可欠なもの  
であります。他方、ご意見のとおり、夜間飛行に対するご指摘をいただしてい  
ることも承知しておりますので、地域の皆様の生活を考慮し努めてご迷惑をお  
かけしない時間帯として21時までを目途に実施するよう配慮いたします。  
一方で、任務によるものや訓練内容、天候の状況により必ずしもお約束がで  
きないことについては、ご承知おきください。引き続き、海側でホバリングを行  
うことや、市街地上空を飛行しないなど、飛行経路等についても配慮に努めて  
まいります。
  
- ⑥ オスプレイの夜間飛行について、当日の天候や風向きにもよるが、他の航空  
機と比較して騒音による影響が大きい。オスプレイの夜間飛行の終了時刻、飛  
行経路などの基準はあるのか。基準がある場合は、その基準に沿って実施して  
いるのか。(久津間住宅区)
- ⑥ 騒音値についてはCH-47と同程度のものと認識しており、引き続き、最大  
限の配慮に努めます。また、夜間飛行の終了時刻については、航空機の運用上

の問題から、何時から何時まで飛行すると明確に回答できませんが、現在、夜間飛行訓練を実施する際には、前月の月末に木更津駐屯地ホームページにおいて公表していますので、是非、ご覧いただければと思います。

- ⑦ オスプレイの配備機数が増えて、飛行頻度が増加したことに伴って、暫定配備以前よりも騒音による影響が大きくなっている。また、低空飛行している機体も散見されることから、騒音や飛行高度について最大限配慮していただきたい。(畔戸区)
- ⑦ 駐屯地北側から着陸する場合は、可能な限り高度を保った状態で飛行場内に進入する等できる限りの配慮をまいります。しかしながら、安全運航上、気象状況等によっては、高度を確保できない場合もありますことご承知下さい。

## (2)事前確認(その他)

※○質問等、●回答

- ① 木更津駐屯地内の滑走路北西部分に新たに格納庫を建設するための工事が行われているが、当該工事に係る排水対策について確認したい。(新木更津市漁業協同組合)
- ① 木更津駐屯地内で建設している格納庫については、施工場所が海域に近いことから、工事期間中においてできるだけ影響を及ぼさないよう、必要な対策を講じているところです。  
具体的な排水対策としては、降雨により本工事から発生する濁水については、現場外周に構築した仮設素掘側溝に流入するように計画し、その流路には工事用仮設沈砂池を設け、濁水に含まれる砂分を沈砂させ、上水が流下するようにしております。
- ② 畔戸区内において、オスプレイをはじめ自衛隊機の飛行運用に伴う騒音による影響は変わらないにも関わらず、50軒ほど、住宅防音助成の対象となる第一種区域から外れているのはおかしい。第一種区域の見直しをしていただきたい。(畔戸区)
- ② 住宅防音工事の対象区域である第一種区域の指定に当たっては、騒音度調査の結果に基づき作成した騒音コンターをもとに、住宅の所在状況や、道路、河川等の周辺地域の状況などを考慮しつつ行っており、できる限り騒音の状況に即した指定としているところです。  
木更津飛行場については、同市における騒音測定結果を踏まえると、第一種区域を拡大するような状況にはありませんが、引き続き、当該測定結果を注視しつつ、今後の騒音状況を踏まえて適切に対処する考えです。

## 5 その他

## (1)漁業協同組合部会

※○意見・要望等、●回答

- ① 金田地区では、オスプレイが同じ経路を同じ高度で何度も飛行しており、飛行経路下の住民は、騒音等による影響が大きいので、飛行経路や高度を工夫していただきたい。
- ① 飛行経路については、例えば、可能な範囲で民家上空から畑の上空へ飛行経路をずらすなど、配慮をしている一方で、航空交通の安全上、設定された飛行経路を変更することはできない。また、高度についても、住宅上空を飛行する際は、努めて高い高度で飛行しているが、木更津周辺は、羽田空港の離発着機が上空を通過するため飛行高度に制限があり、さらに高度を上げることはできない。
- ② 木更津市内に所在する漁業協同組合は、潮干狩りを営業しており、お客様からの苦情が来年度の営業に影響することから、潮干狩りの時間を避けて飛行訓練を行っていただきたい。特に江川地区及び木更津地区は、騒音による影響が大きいことから配慮いただきたい。
- ② 潮干狩り場の開場時間を毎日確認し、操縦士への徹底を図っている。また、潮干狩り場の上空を避けるための飛行経路の一つとして、滑走路から木更津駐屯地西側の洋上に向かって飛行する経路があり、場周経路下に開場している潮干狩り場があれば、同経路を使用している。引き続き、操縦士が留意を怠ることがないように、必ず潮干狩りの状況等の確認を徹底していく。

## (2)区長部会

※○意見・要望等、●回答

- ① 騒音を軽減するために努力はしているかもしれないが状況は変わらない。特に夜間訓練や長時間ホバリングしている際の音が非常にうるさい。
- ① 夜間訓練については、21時までを目途に実施するよう配慮するが、訓練内容や天候等により厳密に約束することはできない。一方で、毎日実施するのではなく、分散して実施するなど配慮する。
- ② 木更津駐屯地を暫定配備先として選定した理由の1つに、1,500mの滑走路長を有することというのがあったが、現在、オスプレイは滑走路を使用していないのではないかと。
- ② 車輪を付けて離着陸をするということではなく、オスプレイは、回転翼モードで機体を前方に傾けながら加速して固定翼モードに移行するが、加速する際に必ず滑走路を使用している。

- ③ 陸上自衛隊オスプレイの予防着陸に係る新聞記事で、ローターの中で部品が摩耗するから金属片が発生するのは当然のことだという表現があったが、離着陸の前後で点検を実施していると思うが、その時点で飛行ができないという判断にはならない程度の軽微なものであったということか。
- ③ 金属片の発生により予防着陸をしたが、オスプレイは、高度なセンサーを多数搭載しており、非常に安全に配慮された機体で、何か少しでも不具合の兆候が出ると、着陸をして点検を促すセンサーが付いているため、そのセンサーの指示に従って操縦士は着陸をした。
- ④ 駐屯地内の整備用の格納庫はいつ完成するのか。
- ④ 現在整備している格納庫は米軍用であり、令和5年度中の完成を予定している。また、今後、自衛隊用の格納庫を建設する予定であり、令和7年度中の完成を予定している。